

ジョイサポコラム No.20

私の人生に影響を与えた 4人の男性①

横須賀・逗子・葉山乳幼児健診医 武谷 広子



昭和39年に医学部を卒業、これまで60年近く医療に携わっていることとなります。同級生に故人も多く、大多数は引退、悠々自適の毎日を送っています。それやこれや、自分がこの年まで医師としての仕事をやってこられたことは健康な体と、周囲の方々の理解・協力のお蔭と感謝しています。

忘れてならない4人の男性とは…。

先ず一人目は私の父です。（昭和54年没）
広島の生まれで13男坊で、丁稚に出され苦労しつつも、並外れた向学心で働きながら大学を卒業しました。当時としては珍しくバイオリンを弾き、朗々とした声での読経が今も思い出される浄土真宗の僧侶でした。教育パパのはしりとも言える熱心さで、私たち姉弟を東京に送り出し、自分は一人北九州に残って、そこから仕送りをしてくれました。父の影響で私は音楽と勉強が好きになり、最終的に医学部に入学しました。

二人目は上司の高宮篤先生です。

日本初の五つ子診療で有名な馬場教授の指示の下、横須賀に派遣され、昭和49年にお会いしたのが、聖ヨゼフ病院の高宮篤先生です。

（高宮光先生のお父様、平成4年没）高宮先生はクリスチャンでした。また、趣味イコール仕事で、医療はこうあるべきと教わりました。夜中でも決して断らず診療し、ご息女の結婚式（東京）にも出られず、私が代理で出席したこともありました。当時はベビーブームで1日200人以上の子供さんを、昼食抜きで、二人で診療していました。

しかし、高宮先生は私には大変甘かったです。「先ず四人の母であれ」と、早退は自由、学校行事も優先させてくれました。

私は、この先生に、今の医師には少ない奉仕・滅私の精神を教えられました。そのためか、ハードでストレスフルな生活の連続で、心筋梗塞で他界されました。

その後、東邦大や横浜市大の助けを借りて診療していましたが、少子化の影響もあり、聖ヨゼフ病院の小児科は閉鎖となり、私は内科の応援、それも在宅医療を任せられるようになりました。訪問看護師さん達と仲良く働けたことで、在宅死百数名の経験も積み、ケアマネージャーの資格を取り、横須賀市の認定審査委員を今春まで23年間務めることができました。

（11月号へつづく）

ジョイサポコラム No.21

私の人生に影響を与えた 4人の男性②

横須賀・逗子・葉山乳幼児健診医 武谷 広子



平成23年東日本大震災の3月に、私自身思いがけず両側橈骨遠位端骨折で入院、オペとリハビリ経験をし、患者としての立場を理解できるようになりました。その3月末、37年間勤めた聖ヨゼフ病院を退職し…さて、と思った時に声をかけてくださったのが、三人目の男性、千場純先生です。

先生は日本医師会の赤ひげ大賞も受賞され、TV出演も多く、在宅医療の啓蒙に力を入れておられ、私自身先生の傘下で一翼を担えることが嬉しかったです。

さらに、先生も大の音楽好きで、イベントをたくさん主催し、それに何回も参加させてもらいました。年齢は10歳下ですが、上司、そして大先生です。診療の日々が勉強の連続で、ご老人達の姿が同年齢の自分の日常と重なって得ること大でした。

先生が三輪医院を閉じ、「まちの診療所つるがおか」としてリニューアル再開なさるのを機に、私は年齢(既に80超え)のこともあり、辞めることに。本当にお世話になりました。

そして最後になりましたが、四人目の男性が、我が夫 武谷克重です。(現湘南グリーン老健葉山の施設長)

無宗教ですが、「自分がされて嫌なことは、ひとにするな」と、言っていることは終始一貫。

大学の同級生で、インターン終了後医師となって結婚し、四子をもうけました。

彼の不思議なところは、料理大好き(外科医だから?)、職場では華道部でした。年も近いこともあり(彼85、私83)、小競り合いは毎度のことですが、私のことをよく理解してくれ、協力を惜しまず、の姿勢でした。

私は音楽が大好きで、歌うこと(第九合唱にも参加経験多)、大正琴・フラダンスをずっと習っており、ピアノ・ウクレレも時々弾いています。

また、活字が大好きで、本を三日に1冊のスピードで読破します。したがって、葉山図書館の常連です。映画鑑賞も好きで、TV、劇場も含めると年間200本近く鑑賞します。ボランティアも手話、要約筆記ほか50年近く今でも続けています。県のゆめ国体の時は講師役を務めました。水泳は40年続け、マスターズに出場したこともあります。

医師としての仕事の他に、趣味にこんなに時間をなぜ作れるのか??というところ、すべて主人が私を認め、家事・育児に協力してくれ、私自身の心の発散、ストレス解消に手を貸してくれているからです。

こうして今、横須賀・逗子・葉山と乳幼児健診を50年ぐらい続けてこられて、視力と運転がどこまで許容できるかによると思いますが、毎日忙しく楽しく過ごせていることに感謝感謝です。